

第1回「新居浜市上下水道事業運営審議会」会議記録

日 時 令和5年8月8日(火) 13:30～:14:50
場 所 消防防災合同庁舎 5階 災害対策室
出席者 羽鳥 剛史 委員
坂上 公三 委員
尾崎 恵 委員
藤田 武 委員
田村 昭一 委員
飯尾 和之 委員
宮川 まゆみ 委員
田那部 三枝 委員
米今 美智恵 委員 (9名)
欠席者 八山 博幸 委員 (1名)
市出席者 神野上下水道局長
小島上下水道局総括次長兼企画経営課長
玉井上下水道局次長兼下水道課長 清水水道課長 神野施設管理課長
由藤施設管理課副課長 村尾下水道課副課長 檜垣下水道課副課長
事務局 横山副課長 石川副課長 高橋係長 神野副主査 大西主任
傍聴者 なし

○内 容

- (1) 会長及び副会長の選出
- (2) 会長挨拶
- (3) 審議
 - ・新居浜市の水道事業について
 - ・新居浜市の下水道事業について
 - ・今後の審議会について
 - ・次回の審議会の日程について

【事務局より冒頭説明】

- ・新居浜市審議会等の公開に関する要綱第3条により審議会の内容は原則公開
- ・審議会条例により、「審議会は委員の過半数が出席しなければ開くことが出来ない」とされているが、本日の審議会は委員総数10名に対し、欠席が1名、出席者9名であるため成立している旨の報告

【局長挨拶】

上下水道事業は「公営企業」として、独立採算を経営の基本としているが、人口減少に伴う収入の減少、施設の老朽化、耐震化対策など様々な課題を抱えている。将来にわたり、上下水道事業が安定的に経営できるよう審議をお願いしたい。

【委嘱状交付】

羽鳥	剛史	委員
坂上	公三	委員
尾崎	恵	委員
藤田	武	委員
田村	昭一	委員
飯尾	和之	委員
宮川	まゆみ	委員
田那部	三枝	委員
米今	美智恵	委員
八山	博幸	委員（欠席）

【職員紹介】

【会長及び副会長の選出】

会 長：羽鳥 剛史 様
副会長：坂上 公三 様

【会長挨拶】

- ・愛媛大学社会共創学部 環境デザイン学科 准教授
- ・専門：都市計画・まちづくり

令和4年度までに開催された審議会においては、水道料金・下水道使用料の改定、下水道整備区域等に係る議論を行い、一区切りついたところではありますが、今年度は経営戦略という新たなテーマの審議会がスタートすることになります。

委員の皆様におかれましては、色々のご意見をいただけたらと思います。

今回の審議会は第1回ということもあり、上下水道の事業の概要・現状について知るところから審議会を進めていきたいと思っています。

【審議】

事務局より水道事業の概要及び経営戦略について配布資料をもとに説明。

(質疑・意見 水道事業の概要及び経営戦略について)

会長	ただ今の説明につきまして、質問及びコメントや感想でも構いませんのでいかがでしょうか。
委員	今の説明をお聞きして、節水型機器というものがどういうものか、また、水道事業におけるダウンサイジングがどういうものか教えてください。
事務局	節水型機器については、少量の水で使用できる洗濯機やトイレなどが挙げられます。 ダウンサイジングについては、昭和期に水需要の増加に伴い布設した配水管を更新する際、人口減少などの要因を加味し、水量予測を行い、口径の小さい管での更新を実施していくことを計画しております。
会長	その他はいかがでしょうか。 今回は、水道事業の概要及び経営戦略について説明いただきましたが、これをベースに次回以降、経営戦略の改定について議論していきたいと思っています。

それでは、公共下水道事業の審議に移りたいと思います。
公共下水道事業の概要及び経営戦略について、事務局より説明をお願いいたします。

【審議】

事務局より公共下水道事業の概要及び経営戦略について配布資料をもとに説明。

(質疑・意見 公共下水道事業の概要及び経営戦略について)

会長	ただ今の説明につきまして、質問及びコメントや感想がありましたらお願いします。
委員	分からない専門用語の検索に苦勞することがありますが、新水道ビジョンの最後のページに掲載しているような用語解説があると非常に助かります。
会長	その他はいかがでしょうか。
委員	渇水時において、地下水がどのくらいあるのか、市でもし把握されているようであれば教えていただきたい。
事務局	渇水時に、地下水をポンプで汲み上げた際に、水位の低下により水が濁るといったことは過去にあったようですが、地下水がどのくらいあって、どれだけとれるといった調査はしていないのが現状です。 なお、渇水時の対応については、過去の最低水位を把握しているので、その水位に近づいた場合は、節水の広報をさせていただいております。
会長	その他はいかがでしょうか。 では、私のほうから1点確認したいのですが、公共下水道事業の概要の資料の中で説明をいただいた下水処理場での資源・エネルギー化事業やPPP/PFI手法の導入の部分が、今回改定する経営戦略に入れ

込んでいく内容として想定しています。その際、例えば資源・エネルギー化事業について、本当に実現可能性があるのかといったことや、どのようなことが課題になっており、なかなか進展していないのかといったところを教えてください。また、PPP/PFI手法の導入については、現在策定済みの経営戦略の中にも既に入っているため、今後内容を盛り込む際に、「包括的民間委託を導入する」くらいの文言でよいのか、あるいは、もう少し踏み込んだ形で記載していく必要があるのか、そのあたりの考えを教えてください。

事務局

資源・エネルギー化事業につきましては、数年前から検討を進めており、新居浜市の大きさの下水処理場では導入が難しいというのがこれまでの状況でした。検討を進める中で、現在、下水処理場において、汚泥を石炭の代わりにの燃料にする試験プラントをもってきて、製造を行うなど実証をしており、近隣の企業との間で、石炭の代わりに燃やしてもらおう準備を進めております。コスト的にも、令和5年度ですと約1億4千万円の汚泥処分費がかかる見込みですが、この費用を大幅に削減できる可能性を十分に有しております。また、汚泥の肥料化についても、近隣の企業と協議をしており、こちらについても、コスト的に有利となることも確認ができており、近日中に試験予定でございます。

本日は、内容的にあまり馴染みのない説明となりましたが、取組内容をより具体的に、分かりやすく説明をして、実行性があるものとして、経営戦略の中に盛り込んでいきたいと考えております。

PPP/PFIについても、あまり聞きなれない言葉だと思いますが、現在、下水処理場では処理施設の運転管理について、PPP/PFI手法導入の一つである包括的民間委託を導入しています。

本市においても、職員数の減少や技術力の継承の難しさ、使用料収入の減少といった課題に直面しており、地元企業と連携しながら、民間に任せられるものは民間に任せるということで考えていきたいと思っております。

なお、本年度は、国の支援事業である「下水道事業のPPP/PFIの案

件形成に関する方策検討」モデル都市にも採択され、より具体的に検討を進めていくことを考えております。

会長

分かりました。どこまでを民間にお願いしていくかということ、どのように経営戦略に盛り込んでいくのかということについて、次回以降、皆さんで議論することになるかと思えます。

その他はよろしいでしょうか。

それでは、2番目の議事は以上にしたいと思えます。

本日の主な議題は以上になります。次回の審議会の内容について事務局より説明をお願いいたします。

【今後の審議会について】

第2回の開催日：令和5年10月10日（火） 13：30 から開催

（後日、改めて案内文書を送付）

第3回の開催予定：令和5年12月

パブリックコメント：令和6年1月

※パブリックコメントに多くの意見が寄せられ、改定案に大幅な修正がある場合は、

第4回の審議会を開催予定

【会長挨拶】

ありがとうございました。本日の議題は以上になります。

本日はご審議どうもありがとうございました。